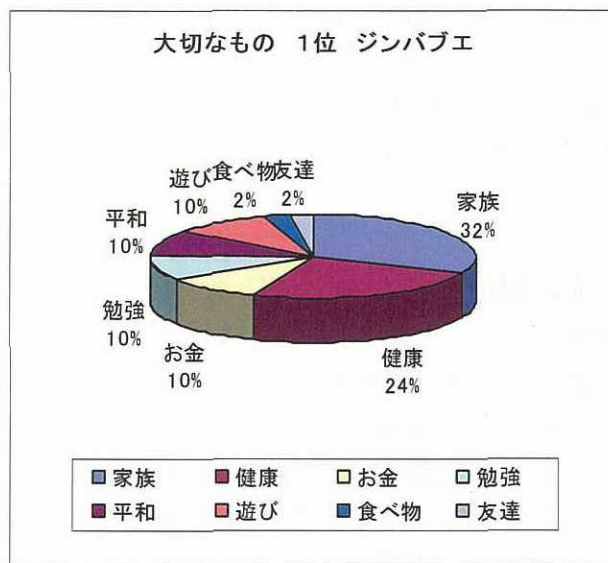
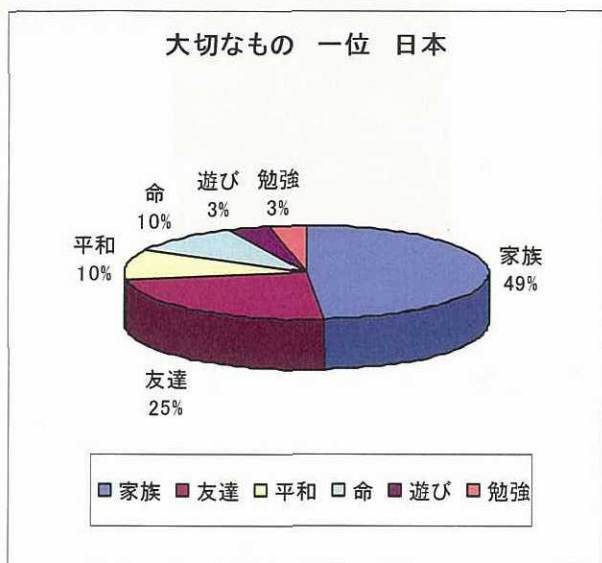


★ 私にとって大切なもの 日本の小学生とジンバブエの小学生



1位の理由 ジンバブエ

家族

- ・ 家族は私を助けてくれる。
- ・ 私は家族と遊びたい、家族を愛しています。
- ・ 家族が一番大切です。家族がいなければ、私は学校へ行けない。
- ・ 家族が大切です。家族は私を育ててくれている。食事も作ってくれる。
- ・ 家族が好きです。ずっと私を見てくれるから。
- ・ 私の家族は素敵です。
- ・ 家族は大切です。お互いに助け合っているから。



*大切なもの授業風景

健康

- ・ 健康が一番大切です。健康でなければ何もできません。
- ・ 美味しい食べ物を食べる。
- ・ 健康でなければ、病気で苦しむ。
- ・ お母さんが健康でない時、私は悲しい。
- ・ 健康は買うことはできない。
- ・ 健康は私を強くしてくれる。
- ・ 私は弱くなりたくない。

勉強できること

- ・ テストに合格してたくさんを知るのは勉強が必要です。
- ・ 学校がないと教育もないから。
- ・ 自分が大きくなって何かに（職業）を成るには勉強が大切だから。

遊び

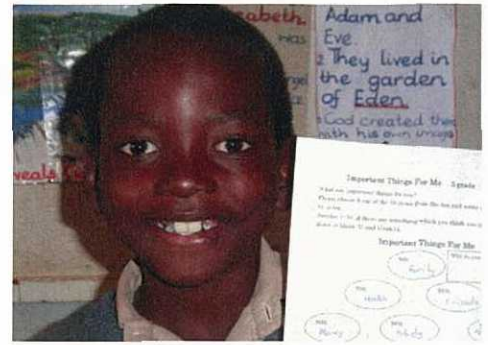
- ・ 遊びは楽しい。
- ・ 遊びは幸せにしてくれる。

平和

- ・ 平和は大切です。神は私たち、全てに平和を与えてくださっています。
- ・ 平和は大切。
- ・ 戦争がないことが一番大切。

お金

- ・ほしいものが買えるから。
- ・お金がないと飢えてしまう。食べられない。
- ・お金がないと物が買えない。
- ・物を買うには大切です。
- ・お金で物を買うから大切です。



1位の理由 日本の子ども

家族

- ・家族がいないとあたたかくないし、おかあさんがいないと食べるものもないし、お父さんがいないとお金がなくなるから。
- ・とてもお父さんや妹が好きだし、世界に一人しかいないから。
- ・家族がいないと生まれてこなかったから、さみしい。
- ・家族がいると明るいから。
- ・家族がいないと何もできない。
- ・自分だけでは何もできないから。
- ・自分を生んでくれたから 支えてくれる。
- ・いつも楽しくて、お母さんはおいしいごはんを作ってくれる。
- ・家族には好きなことを言えるし、本当に大事だから。
- ・家族がいなければ、いろいろな思い出ができないから。

友達

- ・友達がいないと遊びがつまらない。
- ・友達がいれば心強いから
- ・そばにいと落ち着く。
- ・友達がいればいろいろなことができる。
- ・友達がいないと楽しくない。
- ・友達がいれば何でも話せるから。

平和

- ・平和が大切
- ・戦争が起きたら、人々が戦い合う。そんなすがたは見たくないから。

命

- ・命がなければ何もできない。
- ・命は一度なくなると戻ってこないから
- ・命がないと生きていけないから

勉強できること

- ・ぼくは頭が悪いから

★考察

帰国してあらためて日本には「物」があふれていると痛感した。パン一つ買うにも、数十種類のパンが並ぶ。すべての買い物に同じような選択を私たちは子供のころから当たり前のように行っている。ジンバブエではパンやガソリンを買うために長い列を作っている人々がいた。貧富の差や政治の腐敗を感じた。しかし、必要以上に物があふれる日本が本当に豊かな国なのだろうかと思うようになった。ジンバブエの人々は物がないうちに工夫して生活していたし、子供たちは今まで見たことのない笑顔であった。どちらが豊かという問いではなく、子供たちが同じ小学生として共感を持ち、自分たちの生活を振り返ってみる学習ができればと考え実践を計画した。

1時間目のフォトランゲージではどうしてもアフリカは暑い、貧しいという少ない知識から考える意見が多かったが、教科書を実際に見て本当にものを大切にしていることを感じる事ができた。また、ランキングでは政治・経済的な問題を知った上で、やはり家族が大切なこと、交流会での楽しい雰囲気から同じ小学生として共感する意見が多かった。橋本さんからの手紙は真剣にひとりひとりが読んでいたが、橋本さんの言う本当の豊かさについては正直実感が持てなかったように感じた。みんなのおこづかいを出し合って、友情のボールを送った。国際理解教育・開発教育はすぐに結果は表れない。子供たちの心に小さな国際理解教育・開発教育の種を投げ続けることだと思っている。いつか小学校時代に友情のボールを送ったことを思い出し、その意味を再考してほしいと考えている。



☆現地の子供達が遊んでいた手作りボールと友情のボール